

(11/1～11/30) ホール利用者向け

施設利用上のお願い

ホールをご利用の方へのお願い（主催者）

■公演計画時

①使用区分

午前（午前9時～午後0時）、午後（午後1時～午後5時）

夜間（午後6時～午後10時）

②客席収容人員は、大ホール680人以下、小ホール188人以下です。

客席は左右の席を空けて利用してください。

但し、観客が客席等において大声での歓声、声援等を発する恐れのないものについては、大ホールの収容人員の上限を1330人、小ホールの収容人員の上限を353人とし
ます。（上限人数は舞台先端と観客席最前列との距離を保つために3列目以降を客席とし
た人数です。）

※公演中に演者等が舞台上を移動する行為がなく、舞台上の演者等と最前列客席との距離
を2m以上確保できる場合には、大ホールの上限は1375人、小ホールの上限は38
4人としています。

④来場者が1000人を超える公演については事前に神奈川県と相談してください。

⑤楽屋を利用する出演者、スタッフは、楽屋の定員を守ってください。

⑥館内での飲食はご遠慮ください。（大ホール・小ホールの楽屋のみ飲食可）

⑦2部制で公演を行う場合は、1部終了後の消毒、扉を開けての換気を行ってください。

⑧合唱、コーラス、カラオケなど飛沫感染の可能性がある催しは、感染予防対策を十分にと ってください。（例：マスクの着用・フェイスシールドの併用、舞台の先端から約2mの 客席は利用しない等）

⑨客席での発声、歌唱等声を出す行為は、飛沫感染防止のためご遠慮ください。

⑩舞台上での演奏、演技、舞踊等は出演者どうしの間隔をとる等、十分な感染対策をとって ください。

⑪密集回避のため、余裕のあるタイムスケジュールを組んでください。

- ・入場時の混雑緩和の時間、入場者どうしが間を空けた入場をする時間の設定。
- ・トイレ利用時の混雑緩和の時間、利用待ちの方どうしが間を空けて利用する時間を配
慮した休憩時間を設定する等。

⑫母子室は狭い密室空間となるため使用できません。

⑬多目的室2は原則的に授乳室としてのみ利用できます。

⑭多目的室1、3および主催者控室は、主催者の管理のもと感染防止対策をとったうえで ご利用ください。（密にならないようにする、消毒をする、ドアを開ける等）

⑮来場者用の手指消毒液は主催者でご用意ください。

■主催者、スタッフの取組

- ①出演者、スタッフは予め検温をお願いいたします。発熱（37.5℃を目安）または風邪の症状がある場合来館をご遠慮ください。
- ②新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触のある方は来館をお控えください
- ③マスクを着用してください。可能であればフェイスシールドの併用をお願いします。
- ④手洗い、うがい、手指の消毒に努めてください。
- ⑤ロビー、ホワイエ等では、熱中症予防のための水分補給以外の飲食はご遠慮ください。
（楽屋における出演者、スタッフの飲食のみ可）
- ⑥ゴミはすべてお持ち帰りください。（ゴミ箱はありません）
- ⑦給湯室の湯のみの貸し出しはありません。ご準備ください。
- ⑧物販は、接触機会を減らし、集まる人が密集しないよう誘導係を配置する等の対応をしてください。
- ⑨入場時のもぎりスタッフは、マスクや手袋を着用してください。または、半券を入場者に直接、もぎり箱に入れてもらってください。
- ⑩入場時には必ず誘導係をホワイエ、ロビーに配置し、人と人との間隔を1～2m開けるようにしてください。
- ⑪名簿の作成は求めませんが、各自が来館したことを記録するようにしてください。
- ⑫休憩時間には客席に通じる扉を開けて換気をしてください。
- ⑬感染者が発生した場合は、会館へ連絡してください。

■来場者に対しての取組

- ①入場時の検温をしてください。熱のある人の入館はお断りください。
- ②パンフレット、ちらし、アンケート等を配布する場合は、平置きにするなど、手渡しの配布は避けてください。
- ③入待ち、出待ち等出演者に近づく行為は控えていただくよう、周知してください。
- ④開演前の場内アナウンスで、来場者へのマスク着用、手洗い、消毒の呼びかけを行ってください。
- ⑤エレベーター、エスカレーター使用時は密にならないよう誘導してください。

■観客(来場者)が客席等において大声での歓声、声援等を発する恐れのない催しを実施する場合に収容人数制限を超えて開催するために主催者が行う必要のある感染防止策

※観客の入場見込みが1000人を超える場合は、事前に神奈川県への相談が必須です。

- ①消毒の徹底（施設内のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒の徹底）
- ②マスクの着用率100%を担保（マスクを持参していない者に主催者側でマスクを配布）
- ③検温の実施（有症状者の出演・入場を確実に防止する）
- ④事前予約時、入場時などに参加者の連絡先を確実に把握する
- ⑤観客が大声を出さないよう徹底する（個別注意、対応等ができる体制整備）
- ⑥入退場や休憩時間に密集を回避する措置（人員の配置、動線の確保等）をとる
- ⑦十分な換気を行う
- ⑧歌唱等を行う演者と観客の距離を適切に保つ（演者と観客の距離を最低2m確保）
- ⑨催し物前後や休憩時間に演者と観客が接触しない確実な措置をとる